



平成29年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月14日

上場会社名 株式会社ジオネクスト
 コード番号 3777 URL <http://www.geo-nx.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 山田 哲嗣
 (氏名) 森蔭 政幸
 TEL 03-6261-0081

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	637	21.4	16	85.2	28		29	
28年12月期第3四半期	525	5.4	113		108		57	

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 29百万円 (%) 28年12月期第3四半期 57百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	0.28	
28年12月期第3四半期	1.39	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第3四半期	2,650	2,028	75.9	17.98
28年12月期	1,810	1,356	72.7	14.88

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 2,011百万円 28年12月期 1,316百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		0.00	0.00
29年12月期		0.00			
29年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,246	278.7	166	146.4	66		63		0.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期3Q	111,890,380 株	28年12月期	88,500,380 株
期末自己株式数	29年12月期3Q	4,580 株	28年12月期	4,380 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期3Q	106,811,880 株	28年12月期3Q	41,386,341 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際に業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年1月1日～平成29年9月30日）におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善するなど、緩やかな回復基調が継続しております。一方で世界経済は、米国の政策動向、中国の財政・金融政策の引き締めによる景気減速の懸念、金融資本市場の変動の影響や地政学的リスクの高まりにより先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業においては、日銀短観（平成29年9月調査）における平成29年度ソフトウェア投資計画（全規模・全産業合計）が、前年度比7.6%増となる等、企業におけるIT投資の増額により市場規模の穏やかな拡大が期待されております。

このような経済状況のなかで、当社グループは、安定した収益基盤の構築と持続的な事業の拡大を目指し、IT関連事業、環境事業、再生可能エネルギー事業の効率化を図り収益力の改善・強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高637,976千円（前年同四半期比21.4%増）、営業利益16,788千円（前年同四半期比85.2%減）、経常損失28,531千円（前年同四半期は経常利益108,659千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失29,866千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益57,467千円）となり、売上高は前年同期を上回りましたが、利益面につきましては利益率が低下したことや新株予約権の発行に伴う費用が発生したこと等から、前年同期を下回る結果となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(IT関連事業)

IT関連事業では、Webアプリケーションの開発及び安定運用を実現するためのソフトウェアであるZend製品やWebシステムに欠かすことのできないデータベース製品、LinuxOSを使ったサーバー管理用ソフトウェア製品を中心に、ソリューション及びサポートを提供しております。当第3四半期連結累計期間におきましても引き続き既存製品の機能強化や協業企業との連携による付加価値向上に取り組んだ結果、売上高61,734千円（前年同四半期比21.2%増）、営業利益12,035千円（前年同四半期比18.4%増）と、前年同期を上回る結果となりました。

(環境事業)

環境事業では、オフィスビル等のメンテナンスサービスを中心に活動を行っております。当第3四半期連結累計期間におきましては、新規案件開拓や既存顧客への高品質なサービスの提供を行ってまいりましたが、売上高56,806千円（前年同四半期比15.2%減）、営業損失1,895千円（前年同四半期は営業損失2,018千円）と、前年同期を下回る結果となりました。

(再生可能エネルギー事業)

再生可能エネルギー事業では、発電所の開発及びその代行、第三者への売却並びに売電事業等を行っております。当第3四半期連結累計期間におきましては太陽光発電所の取得により売電収入が増加したことや、期ずれ案件が成約したこと等から、売上高519,434千円（前年同四半期比43.1%増）、営業利益144,720千円（前年同四半期比35.2%減）と、売上高は前年同期を上回ったものの、利益面では前年同期を下回る結果となりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては営業利益を計上いたしました。今後も、計画達成に向けた経営を継続するとともに、IT関連事業、環境事業及び再生可能エネルギー事業を積極的に進め、各事業の強化に取り組んでまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ840,073千円増加し、2,650,786千円となりました。流動資産は831,585千円の増加となり、その主な要因は、前渡金が666,070千円減少したものの、現金及び預金が252,046千円、商品が1,135,558千円、その他流動資産が87,952千円増加したことによるものであります。固定資産は9,786千円の増加となり、その主な要因は、土地が2,000千円、投資その他の資産が7,824千円増加したことによるものであります。

総負債は、前連結会計年度末に比べ168,250千円増加し、622,712千円となりました。その主な要因は、流動負債において未払法人税等が5,984千円減少したものの、短期借入金が183,200千円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ671,823千円増加し、2,028,073千円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失29,866千円を計上したものの、第16回新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ362,545千円増加したこと等によるものであります。

また、当社は、平成29年5月9日付で資本金の額及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分による欠損填補を行いました。この結果、純資産合計に変動はありませんが、資本金が1,072,676千円、資本剰余金が738,897千円減少し、利益剰余金が1,811,573千円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年2月14日に「平成28年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	581,128	833,175
受取手形及び売掛金	19,018	30,734
商品	148,452	1,284,011
仕掛品	100	—
前渡金	972,153	306,082
未収入金	199	10,741
その他	22,680	110,632
貸倒引当金	△16	△75
流動資産合計	1,743,716	2,575,302
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	364	494
土地	55,410	57,410
有形固定資産合計	55,774	57,905
無形固定資産	947	779
投資その他の資産	128	7,952
固定資産合計	56,850	66,636
繰延資産	10,145	8,846
資産合計	1,810,712	2,650,786
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,544	12,182
短期借入金	—	183,200
関係会社短期借入金	—	300,000
未払金	24,381	21,400
未払法人税等	11,687	5,702
前受金	53,198	65,839
預り金	23,337	27,495
その他	3,313	6,892
流動負債合計	123,462	622,712
固定負債		
関係会社長期借入金	331,000	—
固定負債合計	331,000	—
負債合計	454,462	622,712
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,572,676	862,545
資本剰余金	1,552,676	1,176,324
利益剰余金	△1,808,422	△26,715
自己株式	△570	△581
株主資本合計	1,316,359	2,011,573
新株予約権	39,890	16,500
純資産合計	1,356,249	2,028,073
負債純資産合計	1,810,712	2,650,786

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	525,620	637,976
売上原価	184,960	418,285
売上総利益	340,659	219,691
販売費及び一般管理費	226,898	202,902
営業利益	113,761	16,788
営業外収益		
受取利息	25	1,077
持分法による投資利益	6,809	—
その他	17,054	14,459
営業外収益合計	23,889	15,536
営業外費用		
支払利息	—	633
関係会社支払利息	11,196	16,241
為替差損	6,809	0
開業費償却	2,608	2,608
支払手数料	7,775	40,699
その他	600	673
営業外費用合計	28,991	60,857
経常利益又は経常損失(△)	108,659	△28,531
特別利益		
関係会社株式売却益	193,972	—
その他	12,136	917
特別利益合計	206,108	917
特別損失		
減損損失	8,539	—
事務所移転費用	22,322	—
債権売却損	224,759	—
特別損失合計	255,621	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	59,146	△27,613
法人税、住民税及び事業税	1,679	2,252
法人税等合計	1,679	2,252
四半期純利益又は四半期純損失(△)	57,467	△29,866
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	57,467	△29,866

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	57,467	△29,866
四半期包括利益	57,467	△29,866
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,467	△29,866
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、第16回新株予約権の行使を受け、当第3四半期連結累計期間に資本金及び資本剰余金がそれぞれ362,545千円増加いたしました。

また、平成29年3月29日開催の定時株主総会において、資本金の額及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分を行うことを決議し、当該決議について、平成29年5月9日に効力が発生しております。これにより、当第3四半期連結累計期間において、資本金1,072,676千円、資本準備金1,552,676千円を減少させ、この減少額全額をその他資本剰余金に振り替え、そのうち、1,811,573千円を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損填補に充当いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が862,545千円、資本剰余金が1,176,324千円となっております。該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	I T関連事業	環境事業	再生可能エネ ルギー事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	50,956	66,964	362,918	480,839	44,780	525,620	—	525,620
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	50,956	66,964	362,918	480,839	44,780	525,620	—	525,620
セグメント利益又は 損失（△）	10,163	△2,018	223,399	231,544	376	231,920	△118,159	113,761

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケア事業であります。

2. セグメント利益又は損失（△）の調整額には、各報告セグメントに帰属しない全社費用が含まれております。

3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	I T関連事業	環境事業	再生可能エネ ルギー事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	61,734	56,806	519,434	637,976	—	637,976	—	637,976
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	61,734	56,806	519,434	637,976	—	637,976	—	637,976
セグメント利益又は 損失（△）	12,035	△1,895	144,720	154,860	—	154,860	△138,071	16,788

（注）1. セグメント利益又は損失（△）の調整額には、各報告セグメントに帰属しない全社費用が含まれております。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

従来「ヘルスケア事業」を報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より、金額的な重要性が乏しいことから、「ヘルスケア事業」の記載を省略しております。